

「マリン・ハウス」通信

令和5年 2月号



マリン・ハウス

「鬼は～外!!」「福は～内!!」

元気な掛け声をあげ、手作りの袴(かみしも)を身にまとった年男、年女の利用者様を中心に、マリン・ハウスでは節分の豆まきを行いました。

節分の豆まきは、邪気を祓い清め、一年間の無病息災を祈る、中国発祥の「追儺(ついな)」という行事が元になっているといわれています。

鬼(に扮した職員)を見事に退治した利用者の方々に、たくさんの幸福と健やかな日々が訪れることを願っています。



とようみ工房

とようみ工房では、家具の丁番金具やカーテンレールの部品など様々な作業を行っています。

皆さん、初めて取り組む内容にも意欲的に挑戦してくれています。とてもやりがいのある仕事ですが、一日取り組むと体が凝り固まってしまうこともしばしば…作業効率アップのために、時折皆さんで筋肉をほくしたり、伸ばしたりのストレッチをしながら取り組んでいます。これからも皆で協力し合いながら目標に向けて頑張っていきます。



フレンス九十九里

2月3日は節分でした。フレンス九十九里でも、今年の皆さんの健康を祈り、南南東に向かい恵方巻を食べました。

その後、鬼に扮した職員に豆を投げながら、「福は内」「鬼は外」と大きな声が響き渡っていました。今年も一年健康に過ごしていきたいと思っています。



ハッピーバレンタイン

バレンタインデーの起源は諸説ありますが、バレンタインとは、3世紀頃のローマに実在したキリスト教の聖職者の名前です。当時のローマ皇帝クラウディウス2世は、「兵士たちに家族ができるとう気が下がる」と考えて結婚を禁止していました。悲しむ兵士たちを憐れんだバレンタインは、これに反発し、密かに結婚式を行っていました。その後バレンタインは、2月14日に処刑されてしまうのですが、「恋人達の愛の守護神」として崇められ、2月14日は愛の記念日「聖バレンタインの日」となりました。そして、恋人たちが愛を確かめ合う日として世界各国に広がっていったそうです。

最近では、ジェンダーシップに対応し、何方にでもチョコをお渡しすることが出来るようになりました。マリン・ハウスでは、職員から大きな愛情をこめチョコレートをプレゼントいたしました。利用者のみなさんは、とても喜んでいらっしゃいました。



たま工房

事業所に週3回やってくる売店での様子です。種類豊富なスナック菓子やおせんべい、どれをとっても美味しいパンは大人気です。

洗剤やシャンプーなどお好みの日用品などもあり、みなさんは「とても助かっています」と売店が来ることをとても楽しみにされています。



フレンス東金

月に2度、定期的に訪問診療を受けています。お医者様が利用者様一人ひとりに寄り添ってお話を聞いて下さるので、みなさん身体や心の悩みなどを相談することができ、安心されています。また、定期的に血液検査を行うので、自身の健康状態を知ることができ、病気の予防にもつながっています。



避難訓練

マリン・ハウスでは、定期的に避難訓練を行っています。今回は火災を想定して、避難誘導や消火器の使い方などの訓練を行いました。

火災の多いこの季節、利用者様、職員とも非常時に備えて真剣に取り組んでいます。



【お問い合わせ先】

自立支援センター マリン・ハウス
千葉県大網白里市南今泉 4832-7

TEL : 0475-77-1066

FAX : 0475-77-1067

MAIL: marinehouse@purple.plala.or.jp

随時見学体験相談受け付け中!!

<http://marinehousechiba.wix.com/home>